



ファミサポだより

第51号

R5. 2月発行

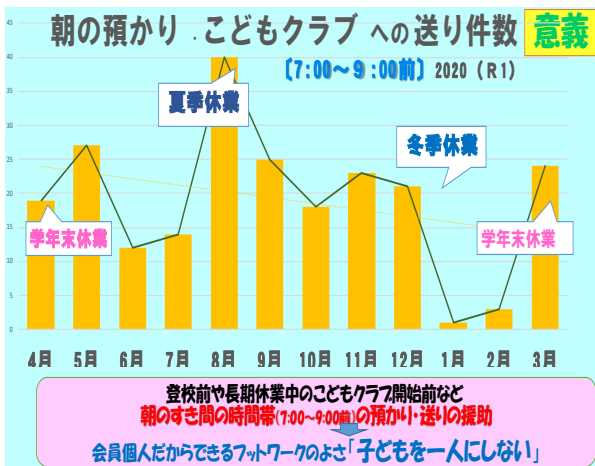
新たな年の始まりからひと月が経ち、野辺に漂う梅の香りに春の訪れを感じる頃となりました。

今年の干支「うさぎ」といえば、「うさぎ追いしかの山 小鮒釣りしかの川」と童謡で歌われているように、昔から多くの人に親しまれているとともに、「飛躍の年」であるとも言われています。

特に、今年は「～こどもまんなか社会を目指す～こども家庭庁の創設」により、「子育て支援」においてはより一層の充実が期待されます。しかし、経済支援はもとより、この先どんなに科学技術の発展に伴いAIが進化しようと、人が人を育てるぬくもりのある皆様のお力が何ものにも代えがたい大切なものであるということ、言うまでもありません。大きく羽ばたく児等(こら)の未来に幸あれと祈るばかりです。よろしくお願いいたします。

もっと知って欲しい

ファミサポのこと 続編(前号に続く) No.3



ファミサポの窓から

コロナ禍に生きる日々もかれこれ3年。子育てで真っ最中の皆さんは「友人、ご近所の方々との関係が希薄。」「子どもと向き合っていて行き詰まる。」「正直しんどい。」と感じたことはありませんか？

そんなときには、先ず外へ出てやわらかなお日様の光を浴び、外の空気をいっぱい吸う。また、連絡がとれる方とおしゃべりしたり、関係機関に相談したり、こども向けイベントに出かけるなど、外へ外へと自分の気持ちを向ける。

大事なことは「決して一人で抱え込まないこと。」ときには、「人の力を借りることも大切な選択肢の一つです。そんなときはファミサポを思い出してください。」

何より「あなたのやさしい笑顔がお子さんへの最高のプレゼント」なのですから。



箏の演奏会~和の集き~ 山田流箏曲家師範 古橋美紀悦さん 1.20

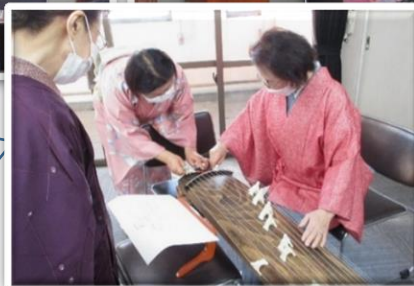
ふるはしみきえつ



昔は箏の絃は絹糸でしたが今はテトロン系でできています。絃の数は13本。柱(じ)という駒を立てます。



「春の海」「早春賦」など先生の奏でる箏の調べにうっとり。心の奥底に染みる幸せなときを過ごさせていただきました。体験コーナーでは「さくらさくら」の曲に初挑戦しました。



ヒヤリハット研修 浦野奈美子先生 川崎 美幸先生

危険な事例について実物を示しながら、とても分かりやすくお話していただきました。

お正月飾りを作って 会員交流会 ファミサポ職員

それぞれに個性を生かした作品に皆さん大満足。お正月に彩を添えてくださったそうです。会員交流会ではファミサポのより広い周知と発展のためにいろんな提案をいただきました。



絆*みんなの広場*

現在、5歳の息子と二人暮らしをしています。

実家は九州の熊本なので、本当の意味での「父子二人っきり」。何かに頼る・誰かに頼らなければとても生活していける環境ではないのが突きつけられた厳しい現実でした。そんな中、私がファミサポを知ったのはもう5年ほど前になります。

当時は息子も0歳、一応「おねがい会員」として登録はさせていただいたのですが、実際にお願いすることはなく、そのままになっていました。これまでも託児所2か所、保育園も2件。いろいろな施設を転々としながら生活してきましたが、やはり一般の方をお願いするのはどうしても気が引けてしまうこともあり、たった二人きりの家族で大事な息子を知らない人に預けるという怖さもありました。

そして、数年が過ぎ息子も今年の4月から小学校に上がること、将来のことも考え、私自身の仕事も新しくすることになりましたが、「時間の融通がきけば、もっと働けるな。」と悩んでいたところ、思いついたのがファミサポでした。

職員の方に相談させていただいたその日に良い方が見つかりましたと、すぐにお返事をいただき、紹介いただいた当日に会員さんと顔合わせができました。お願いしたのは保育園のお迎えと私が遅い時間の帰宅になるとき、まかせて会員さん宅で見ていただくというもの。

快く承諾いただきすぐをお願いをすることになり、今に至ります。毎週末お願いするうちに息子も懐いて、一緒に遊んでもらうのがとても楽しみなようです。

息子の言動もきめ細かにみて伝えていただいたり、息子の疑問にもちゃんと応えてもらい、もう安心を通り越して実家に息子を預けているみたいでお願いして本当によかったと実感しております。

心から感謝しております。これからも、よろしく願います。 JM



援助を始めるときの連絡について

- ①最初に援助の依頼をするとき
- ②まかせて会員決定後 事前打合せの日時の報告
- ③事前打合せ実施後の報告（援助開始日時等）
- ④約1か月以上休止後 援助を再開するとき

①～④の内容すべて
「おねがい会員」から
ファミサポへ連絡してください。

会員数(1月末現在)

おねがい会員	770人
まかせて会員	346人
どっちも会員	34人
合計	1,150人

ファミリー・サポート・センターさの
〒327-0003佐野市大橋町3212-27
(佐野市総合福祉センター内)
TEL・FAX 0283-22-0115